

鶴川駅で献血呼び掛け

少年野球チームも協力



元気いっばいに献血を呼び掛けた

東京町田クレインライ
オンスクラブと町田市少
年野球連盟（渡辺健介理
事長）鶴川支部所属の小
学生たちがこのほど、街
頭献血キャンペーンを小
田急線鶴川駅前と、近く
にあるやすらぎ公園で行
った。

同地区に活動拠点を置

くクレインLCの「地域をお願ひします」と大声奉仕の輪を広げたい」という思いに、同連盟が「子どもたちに他人のために流す汗の大切さも知ってほしい」と応え、数年前からさまざまなボランティア活動を一緒に取り組んでいる。奉仕以外にも、小麦やジャガイモの栽培体験といった農作業などを一緒に行い、子どもたちに食の大切さも学んでもらっている。

当日は、レッドファイヤーズと鶴川Dレジェンズ（鶴川東少年野球クラブ）の球児が午前と午後に分かれて参加した。プラカードを抱えて「献血ををお願いします」と大声で呼び掛けると、子どもたちの必死な声に応えようと日本赤十字社の献血バスへ大人数が集まり、待合スペースは満席になった。子どもたちも社会の役に立っていることを実感し、喜んでいた。

クレインLCは「献血運動は当LCの大切な事業。新型コロナウイルス感染症の発生以来、血液不足が続いており、協力いただいた方々に感謝している。子どもたちの笑顔に癒やされた方も多かった。今後も地域の絆を深める事業を進めていく」と話していた。

1月1日 武相新聞記事
武相新聞社承認済